

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171100144		
法人名	社会福祉法人 久栄会		
事業所名	グループホーム 石動		
所在地	神埼郡吉野ヶ里町石動 3210番地		
自己評価作成日	平成22年10月23日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成22年11月24日	外部評価確定日	平成23年1月17日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>山麓の豊かな自然に囲まれている環境で民家を改築した、木造二階建ての暖かみのある建物の事業所である。地域に根差した楽しい生活、また地域資源を活用し地域の一員として、総会、敬老会、年2回のクリーンデイの参加等、地域の方々とのしっかりした友好関係が築かれております。又、ホームでの消防訓練や、バーベキュー会にも地域の方の参加があり、コミュニケーションができ、絆も深まり、気安く会話を交わし、利用者の無断外出時等、すぐさま連絡をして頂く等してもらっています。利用者の方は事業所内のデイサービスでの音楽リハビリ、小規模多機能でのカラオケや、地域の子供たちとの七夕会、納涼祭、各事業所との合同レクリエーションに参加され、楽しく過ごされています。愛情を持って自然体でその人らしさを大切にしながら、最後まで安心して頂き、生きがいを持って活気ある生活をされますよう、職員一同ケアして、職員本意ではなく利用者本位の介護に努めたいと思います。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>地域密着でのグループホームが言われたす前から、地域の人から必要性を感じてもらえるような施設作りを第一に考えて運営にあたっている。代表者は元々地元出身で地域の人よりの信頼も深く、行事や消防訓練等地域住民の方の協力もあり1軒の家として地域に根付いており、地域の方からの相談にも応じている。利用者が出来るだけ楽しく、また現在の機能が低下しないよう、毎日午前中は同じ経営母体のデイサービスやグループホーム等と交流を持っている。又、生活の中でリハビリが行えるよう利用者の持っておられる機能を勘案して援助や食事の準備、後片付け等職員と一緒に行われている。また自然に囲まれた環境で、利用者のペースで、出来ることを一緒に行うことで安心して穏やかに生活していただき、生きがいや健康維持、自立に向け職員全員で地域に根ざした取り組みがなされている。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着サービスを踏まえ、職場内で話し合い、理念を作り、その理念を毎朝礼で朗読するなどして共有し、実践に努めている。	職員みんなで話し合っ作り上げた理念を、毎日朝礼時唱和することで、全員が共有できるような体制がとられている。又、外部評価項目を、職員全員で行う等職員の意識付けが行われている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として自治会に加入し、地域の総会、敬老会、清掃活動等に利用者と共に参加し、又消防訓練、施設内にてバーベキュー会等に参加してもらい、交流を図っている。	散歩のコースには、休憩できるように地域の人が椅子を準備したり、休憩所で楽しんでもらえるようにと花を植えたり、苗や季節の野菜等近所の人から持ってきてくれたり、自然な交流がもたれている。又、新しい職員が地域の清掃活動に参加したり、年1回は広報誌を配ったりと地域の人と馴染むきっかけ作りが積極的に行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所は、地域の敬老会、総会、介護者教室等において認知症の実態、介護の在り方等について話し合いをなし、清掃活動、買い物、散歩等において見せる介護をなしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二カ月に一回、運営推進会議を開き、利用者やサービスの実態、課題等について報告や意見を出し合い、運営に反映させている。	会議は出席者の都合を聞きながら、参加してもらえる日程で開催されている。参加者には地域の婦人会や消防団員等働きかけている。その結果消防訓練時の協力にも繋がる等、積極的な取り組みがなされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町の担当者、地域包括支援センターとは、交流を密にし、事業所の実態、サービス状況等を伝え、情報交換を密にしている。	敬老会等の行事に招待し、行政よりの困難事例の利用者を受け入れたりと、行政よりの相談も積極的に受け入れる体制がとられている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の各部屋は、施錠は無く、玄関も自由に入出りができ、帰宅願望から外に出られるときには、阻止するのではなく、さりげなく同行している。	玄関は、自由に出入りが出来るようになっていて、ご利用者が外へ出られるときは、さりげなく見守りを行っている。またストレス発散として1日に1回は外出を行っている。利用者が一人で外出された時等、連絡をもらったり地域との連携や協力が伺える。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、研修や勉強会において、高齢者虐待防止法について学び、利用者の動向については受容を原則とし、虐待防止に注意を払っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	スタッフは勉強会、研修会において成年後見制度について学び、来訪等に説明し選任された後見人の方とはよくコミュニケーションをとりいつも来てもらえるように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は家族様、利用者とはよく話し合い疑問点、不安をたずね十分な説明を行い理解、納得を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会の時にアンケートを実施したり、家族の来訪時等の際に問いかけ何でも言ってもらえるように話している。出された意見要望等はカンファレンス等の際に話し合い運営に反映させている。	家族がよく面会に来られるので、その機会を利用して、又、行事やカンファレンス時に家族より希望、要望を聞いている。また年2回の家族会の折にアンケートをとり、言い易い雰囲気作りで軽いゲームを取り入れる等の対応をされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は職員が意見を気安く言える職場作りに努め通常勤務や月1回のカンファレンス等において職員の意見を聞き運営に反映させている。	年2回の人事考課の面接の際に意見や要望を聞き、カンファレンス等で検討を行う体制ができています。又職員に順番で3分間、なんでも良いので自分の思いを言える時間を設けることで職員間のコミュニケーションを図る機会となっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は業務の自己評価に基づく職員との面談や業務管理シート等により、よりスタッフの実践態度等を把握し人事考課、賞与に反映させ働きやすい職務環境条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は勤務を通じての機会教養や外部研修、又新人に対しては新人研修を行い勤務態度や能力の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は研究会でのグループトーク又、他の職場と合同勉強会を持ちサービスの向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者、ケアマネジャーで本人、家族から不安、要望を聞き必要とされる支援を把握して、安心して頂ける関係づくりに努める。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に管理者やケアマネジャーが家族と話し合い、実際生活の場を見学していただき日常生活や介護の実態について理解、納得してもらい入所をもらっている。また、入所当初は家族の訪問をもらい、介護の実態や利用者の状況等を把握、理解してもらうように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、ケアマネジャーが本人、家族と浴話し合いどんな支援が必要かよく見極め、法人内外のサービスの利用を含めサービスに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は本人に日頃から料理や畑仕事を教えてもらう場面も多く、お互いが支えあえる関係を大切にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	理念を基本とし、家族と連絡をよく取り、面会にもよく来てもらいコミュニケーションを図り、面会、受診、外泊、家族会などの機会において、共に本人を支えて行くよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の家、親しい友人、生まれ故郷、墓参り、かかりつけの理容室、病院、行きつけの店等希望があれば一緒に行き、人や場所との関係が途切れないように支援している。	周辺に住まれていた入所者も多く、近所の人気が気軽に訪ねてきたり、地区の敬老会への参加や墓参り等要望に応じ支援が行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し食卓の座席の位置、車内の席など考慮している。また、畑仕事、料理の準備、歩行など、日常生活の場において利用者同士が支えあう姿勢がみられ、側面的に支援に努めている。歩行が不自由な入所者同士の支えあえるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人が退所されても家族と連絡を取ったり相談に応じ、関係を大切にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で本人の思いや希望・意向を見出し把握するように努めている。困難な場合は職員間で検討したり家族に情報を求めて支援するように努めている。	利用者の希望や意向が把握できるように日常生活の中で確認しながら対応している。希望に応じ対応できることは、試みられている。また、面会時、行事の折に家族より情報収集し意向に応じ随時対応がなされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からこれまでの生活歴や環境、様々な情報を収集し、また日常生活の会話の中でも把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者各人の一日の過ごし方、心身の状態等の把握に努め毎日の申し送りや個別のケース記録、職員間の連絡ノートを活用すると共に、カンファレンスにおいても現状把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の希望や意欲の向上を念頭におき、家族等の意見も反映しながらモニタリングを行い、毎月のカンファレンスで職員で意見を出し合い検討しながら介護計画を作成している。	毎月のカンファレンスで職員全員が、状態や希望等を出し合いながら検討を行い、担当者が原案を作成している。その後ご家族と一緒に介護計画の作成がなされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の気づき等は個別のケース記録と、介護計画に基づいたケアチェック表に実践や結果を記入している。排泄チェック表を作成し、毎日の実践に活用している。毎月のカンファレンスで職員間で意見交換をし情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	画一的なサービスではなく、その時々状況に対応できる支援を行うように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の住民、商店、美容室、病院等地域資源を把握し、利用者が地域住民と共に地域に根付いた生活を営め、さらに安全で豊かな生活を楽しめるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は利用者一人ひとりのかかりつけの医、又家族が希望する協力医療機関で行っている。訪問診療や臨時の往診など密に出来ている。	基本的には、ご家族、ご本人が希望されるかかりつけ医での診療を行っている。看護師より主治医への情報提供も密に行われている。通院時等、特別な場合はご家族対応をお願いすることはあるが、おおむね施設で対応されている。緊急時は連携病院の往診で対応されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は勤務を通して、容態の変化、心身の状態を把握し、看護職員、管理者、全職員と情報交換、共有が出来ている。適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際、本人の病状や体力、年齢等に応じた適切な治療の為に利用者家族の意志を尊重した上で利用者が安心して治療出来るように支援する。その為に病院関係者と密に連携し、情報交換、相談に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明書に重度化した場合の介護、看取り介護について明記している。家族、医師、職員を交えて話し合いを行い、看護、介護の在り方、方針を共有し、地域関係者と共に支援出来ている。	実際に看取りを行った実績もあり、夜間も対応できるよう主治医との連携も図られている。看取り時の職員配置も随時検討が行われている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員は消防職員によるAEDの使用方法、救護措置等の教養を受け又定期的に実習を行い常に知識維持向上に努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練は全職員が年に2回行い、地域住民と共に行っている。地震、水害の災害時の対応について避難方法避難先等についての研修も行っている。	地域の消防団員、地域住民の協力もあり全職員で年2回の訓練も行われている。運営推進会議時に消防団員の提案で地域住民や消防団員の参加が得られるようになり積極的な関わりが持たれている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	支援を行う際、個性を失わないよう、本人の意志を尊重し、利用者本位の介護を行っている。排泄・入浴介助では羞恥心に配慮している。ホーム便りや研修資料等も本人家族の同意を得て使用するなど、プライバシーを損なわない対応をしている。	一人ひとりの状態に応じプライバシーに配慮した声掛け、援助が行われている。また環境的にも整備をされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人の意志を尊重し、自己決定できる機会をもち、職員は本人の要求や希望に応じた生活の支援を行っている。「お給料を下さい」とおっしゃる方に対しては家族の協力を得て、預かり金から 給料という形で提供したりもしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れにも、その中で入居者一人一人が自分の生活のペースを大切に、個々の暮らしを守るよう入居者の意志を尊重している。又、日常の暮らしの中にも外食や行事等に参加を促し、より楽しい生活を送ってもらえるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	約2か月に一回のペースで美容室より園に散髪に来て頂いている。散髪以外にも、パーマやカラーなど、本人の希望があれば頂くことも可能であり、個性を大切にしている。その他、男性は髭そり、女性は爪のケアまで身だしなみには配慮している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備から片づけまで、利用者と共にいる事で、利用者の能力を引き出したり、生きがいに繋げている。又、外食の機会を持ち、普段と違った食事環境を設けたり、一人ひとり落ち着いて楽しく食事できるよう努めている。	関連の施設で立てた献立の中から1つ決め、他は利用者と職員で話し合いながら決めていく。材料の買出し、下ごしらえや後片付け等は能力を勘案しながら一緒に行われている。自分の役割を持つことで生きがいに繋がるよう配慮された取り組みをされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の摂取量を毎日記録し、職員が把握できるようにしている。又、法人内の栄養士の献立を参考にしたり、研修で指導して頂き、利用者に適した食材選びから調理法、栄養バランスを考慮し提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、義歯の洗浄を各利用者に応じて支援している。うまく歯磨きを行えない利用者には時間がかかっても自分の力で頑張ってもらう、最後は職員が仕上げ磨きをしている。又、洗浄効果のあるお茶でのうがいを実施している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックに基づく定時のトイレ誘導や外出前後のトイレへの声掛け・誘導を行いパットへの失禁を減らすようにしている。特に利用者の失禁状況の把握に努めパットや紙パンツの減少にも努めている。	昼間は、紙パンツ使用者を出来るだけ減らすことを目標に職員全員で取り組まれている。結果二人の利用者のオムツ外しもでき自立に向けた支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一日一食を玄米にしたり、食物繊維の多い食材を取り入れている。また、十分な水分補給に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一日おきの入浴をしているが利用者の要望で毎日入浴することもある。入らない日には清拭や足浴を行い入浴気分を味わってもらうと同時に清潔保持にも努めている。	利用者のその時々状態に応じ、無理強いくことなく入浴の支援をされている。目安として、1日おきの入浴を行っているが、状態により行えない時は、随時清潔に配慮した対応がなされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状態に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の体調や気分を考慮し休息して頂くようにしている。安眠できるよう、寝具や室内温度等の調節をし、入眠を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診後の看護記録への記入をすることで薬の変更があっても職員間の報告・連絡によって対応、理解している。また、医師との相談のうえ、症状の変化の確認をして頂いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各利用者の生活歴や残存能力を生かし家事や畑仕事等を一緒に行う事で楽しさの共有ができ生きがいのある日々を過ごされるようにしている。また、買物ドライブ、カラオケ等を取り入れ利用者職員みんなで楽しく過ごされている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一日一回以上は外出する機会を設け季節に応じた花見見学や昼食のお弁当を持っての外出など利用者の希望や職員からの提案に沿って支援している。	四季折々に外出できる行事等も計画し1日に1回は外出する機会を設けている。外出することで地域との交流や協力も得られ、又利用者のストレスが出来るだけ発散でき楽しく過ごされるような取り組みがなされている。	



自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理ができる方は、所持され、日用品等必要な買物をされ、働きに来ておられる利用者については、給料袋に1000円前後の金額をいれ給料名目で渡している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族からの電話には、ゆっくりと気兼ねなく行えるようになるべくスタッフは中座し、電話後の要望には本人の希望に添えるように対応している。手紙のやり取りについては宛名の代執等を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には転倒防止のための手摺りを設け、清潔を保つために毎日清掃を実施したうえ週1度の清掃日を決め清掃の徹底を図っている。玄関・居間・トイレ等には季節の花を活け苑に活用している。	事業所の庭や景色を含め、安心感がある環境の中で、アットホームな雰囲気が漂う。台所、浴室、トイレ、リビング等自宅で生活している時と同じような空間となっていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間で過ごして頂く利用者の「輪」に職員も参加し快適に過ごして頂くと共に体調変化にも配慮している。 家族・友人等の来訪者は、必要に応じ、自由に利用者の部屋で面会して頂いている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者には、自分の居室がわかるように顔写真を掲げている。居室の持ち込みは、配偶者や子供の写真など愛着を持たれていた品物など自由に持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるように配慮している。	民家を改修し、自宅で生活されていた時と同じような造りで、各部屋くつろげる空間となっている。部屋には思い思いに馴染みの品が配置されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各利用者の得意なことや残存機能を生かし、その方に適した料理、洗濯物干しやたたみ、畑仕事など職員と共に行っている。廊下・トイレ・浴室等に手摺りを設け自分で安全に移動できるように配慮している。		

**V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)**  
**※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない